

衛生学

講 師	横 尾 美智代	実施時期 単 位 数	第 1 学年前期 1 単位 (15 時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	健康を左右する環境衛生(衛生学)の重要性を理解する。個人と集団に対する健康障害の予防能力を高める態度や能力を養うための手法を習得する。感染症など集団防御対策とそれに関わる人々と社会の仕組みを理解する。				
授 業 概 要	(1) 健康の概念、予防の重要性を説明できる。 (2) 人口問題、自然環境、地球環境、について、それぞれの特徴を説明できる。 (3) 感染症(食中毒を含む)等、環境と集団の健康の問題を説明できる。				
学 習 方 法	教科書、配布プリントによる講義が中心である。必要に応じて課題解決のためのグループディスカッションを行う。毎時の学習内容の定着を評価するために、クラスメートとディスカッションをしながら「振り返りプリント」を完成させる。				
成績評価の方法	定期試験の結果を中心に、毎回の授業の参加状況を考慮して評価する。 定期試験90%、振り返りプリント10%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1「保健生態学」 医歯薬出版				
履修上の注意	近年、歯科衛生士の活躍の場は診療所や病院だけでなく、地域社会や国際社会においても広く期待されている。多方面で活躍できる歯科衛生士をめざして、本科目を通して個人および集団の健康を守るために必要な概念、知識、理解力を身につけてほしい。				
参 考 書	『公衆衛生がみえる2024-2025』朝日メディックメディア				
教員の職務経験 (科目との関連性)	大学で15年以上にわたって衛生学の講義・実習を担当、また衛生学(社会医学)の研究を行っている。その経験を基に衛生学の講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	衛生学、公衆衛生学とは何か 健康の概念 予防医学の概念	健康の定義と国民の権利を理解できる。予防の概念を説明できる。健康づくりの理念を説明できる。
2	人口の動向、人口動態統計、生命表(1)	我が国と世界における人口の現状と推移を概説できる。我が国の人口統計を説明できる。
3	人口の動向、人口動態統計、生命表(2)	疾病統計、人口統計を用いてこれからの日本の人口の推移と健康上の問題について説明できる。生命表と平均寿命について説明できる。
4	疫学の定義、概要、方法	疫学の考え方を理解できる。倫理的配慮の大切さを理解できる。疾病、異常の発生要因を列挙できる。疫学研究の方法を理解し、説明できる。
5	環境と健康: 環境の概念、空気、水と健康	人間と環境、健康の関係を説明できる。大気汚染、水質汚濁などの身近な環境問題に関心を持ち、空気の成分、水の浄化法など環境を守るわが国の仕組みを列挙できる。
6	環境と健康: 放射線、住居、地球環境	放射線の種類や特徴を列挙できる。居住環境問題について列挙できる。地球環境問題と人体への影響、対応策について説明できる。
7	環境と健康: 公害と健康影響、廃棄物処理	我が国の公害病の種類、それによって引き起こされた健康被害を列挙、説明できる。廃棄物の種類と責任の所在、処理方法を列挙できる。
8	食中毒と感染症	感染症の成立の三要素、防御方法を説明できる。我が国で特に問題となっている食中毒、感染症を概説できる。予防の考え方、対策について説明できる。